

埼玉県生協連 6 月度まとめと今後の課題

2019 年 7 月 10 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 会員生協総代会・総会の状況

15 会員生協の総代会・総会が開催され、全会員とも全ての議案が承認可決されました。総代会・総会については、9 月に開催される第 2 回理事会で交流を行う予定です。

(2) 埼玉県生協連総会

第 48 回通常総会が、6 月 20 日に代議員 43 人中 42 人の出席(本人出席 34、書面出席 8)でおこなわれました。議案討論では 4 人の代議員から、子どもの貧困の問題や地域で安心してくらすために高齢者をサポートしている取り組み、地域の中で生協が連携することの重要性と埼玉県生協連の役割として求めることなどについて発言がありました。その後、第 1 号～第 4 号議案の採決が行われ、賛成多数で全議案承認可決されました(別紙報告 1 参照)。

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 10 月 10 日開催の「第 55 回埼玉県消費者大会」は、第 3 回実行委員会で、全体会記念講演の講師を国連広報センター所長根本かおるさんで確認しました。テーマは「SDG s について (仮)」で、詳細は 7 月実行委員会で話し合い、案内チラシ等作成します。分科会テーマ「食」「消費者課題」「防災・減災」「環境」の 4 つとし、話し合いをスタートしました(別紙報告 2 参照)。
- ② 「消費者被害防止サポーター活動推進事業」については、6 月 11 日から消費者被害防止サポーターフォローアップ研修と交流会がスタートし、6 月 28 日までに 3 会場で実施、97 人のサポーターと 4 市 1 町の消費者行政担当職員が参加しました。
- ③ 「高齢者見守り促進事業」では、5 市 5 町を訪問し、サポーター養成やそれぞれの市町村における啓発活動との連携などについて提案と意見交換を行いました(別紙報告 3 参照)。
- ④ 適格消費者団体の取り組み(差止および被害回復)では、現在 2 件の訴訟が継続中ですが、ディー・エヌ・エー訴訟の弁論準備手続の具体化が進みました。書面による差止請求 0 件(累計 0 件)、申入れ 0 件(累計 7 件)、お問合せ対応は「データ復旧事業者」「LP ガス事業者」への 2 件(18 件)、検討中 15 件でした。被害回復の取り組みは、申入れ 0 件(1 件)、お問合せ 0 件(1 件)になります。

差し止め 訴訟	NTT ドコモ	最高裁判所に上告理由書・上告受理理由書が 受理されました。
差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第 8 回期日が、9 月 11 日(水) 10 時 30 分さ いたま地裁で行われます。

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→差し止め請求→訴訟

- ⑤ 10 月 5 日開催の「さよなら原発埼玉県民集会」に向けて、第 3 回実行委員会が 6 月 26 日に行われ、集会当日のすすめ方や集会の申し合せ事項について話し合いました。また、実行委員会終了後、朝日新聞の青木美希記者を講師に迎え、福島第 1 原発事故から 8 年後の福島・避難者の現状をテーマに学習会を行いました。

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 7月28日開催の「第34回埼玉県原爆死没者慰霊式」に向けて、6月21日に第2回実行委員会が開催されました。当日運営に必要なスタッフ人数の確認と各団体へのスタッフ派遣要請を中心に話し合いを行いました(別紙報告4参照)。
- ② 7月27～29日に開催される「2019 平和のための埼玉の戦争展」に向けて、実行委員会での話し合いが行われ、当日の企画内容が決まりました。今年は「遺品が語る沖縄戦」の特別展示を実施します(別紙報告5チラシ参照)。
- ③ ヒバクシャ国際署名は、会員生協累計で137,598筆(※1.2参照)。埼玉連絡会全体では315,171筆となりました。
 - ※1 会員生協累計筆数にはヒバクシャ国際署名埼玉連絡会以外に報告している生協の筆数が含まれます。
 - ※2 コープみらいは、東京、千葉、埼玉の3都県を合わせた筆数となります。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報6月号、さいたまの生協2019年度版を発行しました。
- ② 県連通常総会、埼玉消費者被害をなくす会通常総会が埼玉新聞に掲載されました(別紙報告6参照)。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 7月19日に開催される「近いがうまい埼玉産地産地消推進会議」には、埼玉県生協連からは生活クラブ生協が参加することになりました。

(2) 埼玉消団連

- ① 6月度幹事会では、(一社)埼玉県乗用自動車協会からの依頼でタクシー運賃改定の意見聴取に消費者団体として対応しました。
- ② 埼玉県食品ロス削減ネットワーク会議に消費者団体代表として幹事(県婦連)が出席しました。

4. 今後の課題

- ・ 埼玉県との今年度第1回定期協議の開催準備と、協議に向けた「県への要望」のとりまとめ。
- ・ 2019年度埼玉県委託事業「埼玉県消費生活協同組合役職員等研修事業」の内容確認と契約手続き。
- ・ 埼玉県消費者大会への各団体参加者確認。ホームページへの掲載、関係団体や市町村行政への案内など広く案内(別紙報告7参照)。
- ・ 7月28日ヒバクシャ国際署名駅頭行動(浦和駅東口)。
- ・ 「消費者力アップ学習会 Vol.1」(8月28日10時～/浦和コミュニティセンター/テーマ「キャッシュレス決済と信用格差社会」)の参加確認(別紙報告8チラシ)。
- ・ 9月14・15日「2019 コヨット in 埼玉」の実施に向け、内容の詳細準備、参加者募集。
- ・ 第1回災害対策委員会で8月29日「九都県市防災訓練」の内容、分担等確認。
- ・ 埼玉消団連として市町村消費者行政調査の進め方準備。

別紙報告 1 埼玉県生活協同組合連合会 第 48 回通常総会報告

2019 年 6 月 20 日 埼玉県生活協同組合連合会
6 月 20 日(木)15 時 00 分より、さいたま共済会館(さいたま市)において、埼玉県生活協同組合連合会第 48 回通常総会が開催されました。代議員定数 43 人中 42 人(実出席 34、書面 8)が出席し、第 1 号議案から第 4 号議案が賛成多数で承認されました。

1. 総会役員の選出

司会の久保美紀常務理事が総会の成立を宣言した後、議長に境由華代議員(コープみらい)と磯崎悦子代議員(医療生協さいたま)及び議事運営委員を選任しました。続いて書記を指名しました。

2. 来賓あいさつ・メッセージ紹介

埼玉県県民生活部消費生活課関口課長、埼玉県農業協同組合中央会小池常務理事、埼玉県地域婦人会連合会柿沼会長よりごあいさついただきました。続いて、議長より全国の都道府県生協連や生協などから 73 のメッセージが寄せられたことを報告しました

3. 議事運営委員会の報告と議案の提案

大山議事運営委員長より議事運営の提案がおこなわれた後、岩岡会長理事から、議案が提案されました。

第 1 号議案 2018 年度事業報告/決算報告/剰余金処分案決定の件

第 2 号議案 2019 年度事業計画/予算決定の件

第 3 号議案 役員選任の件

第 4 号議案 2019 年度役員報酬額決定の件

その後、横田厚監事より監査報告がおこなわれました。



4. 議案討議

議案討議では、4 人の代議員より発言がありました。富沢雅子代議員(生活協同組合コープみらい)は「子どもの貧困問題について」、工藤幸代代議員(生活協同組合パルシステム埼玉)は「福祉の取り組みについて」、田中正彦代議員(医療生協さいたま生活協同組合)は「フレイル予防学習をとおして、地域、組合員とつながる」、杉本創代議員(生活協同組合・さいたま高齢協)は「地域福祉分野での生協間の連携」のテーマで発言。発言を受けて岩岡会長理事がまとめをおこないました。

5. 議案採決

第 1 号～第 4 号議案の採決をおこない、全議案が賛成多数で承認されました。

		反対	保留	賛成
第 1 号議案	2018 年度事業報告/決算報告/剰余金処分案決定の件	0	0	賛成多数
第 2 号議案	2019 年度事業計画/予算決定の件	0	0	賛成多数
第 3 号議案	役員選任の件	0	0	賛成多数
第 4 号議案	2019 年度役員報酬額決定の件	0	0	賛成多数

議長より、すべての議事の終了を受けて、第 48 回通常総会の閉会が宣言され、議長と議事運営委員が退任しました。

6. 退任役員紹介・第 1 回理事会報告・新任役員紹介

閉会后、選任された役員により、第 1 回理事会、第 1 回監事会が開催され、会長理事に互選された吉川会長理事より、第 1 回理事会報告、新役員の紹介、監事会からの通知について報告をおこないました。なお、第 1 回理事会をおこなっている間に、退任役員の紹介がおこなわれました。



第 55 回埼玉県消費者大会

10 月 10 日（木）10 時 30 分～ 埼玉会館

第 3 回実行委員会報告

第 3 号 （6 月 18 日発行）

実行委員会事務局（県生協連内）

電話 048-844-8971

Fax 048-844-8973

Mail: shodanren@saitama-k.com

開催日時 2019 年 6 月 18 日（水）
13 時 30 分～15 時 30 分
開催場所 浦和コミュニティセンター
第 14 集会室
参加者 25 人（19 団体）事務局 2 人



【議題】

1. はじめに

埼玉県消団連事務局長変更について報告がありました。

2. 第 2 回実行委員会報告をおこない、前回までの到達点を確認しました

●前回の実行委員会での話し合いについて振り返り、今月から、地域団体からの副
実行委員長 2 人を加えた正副委員長打合せを経て、第 3 回実行委員会を開催して
いることを報告しました。

●7/12 プレ学習会（テーマ：憲法について）の講師が伊藤真さんに決まって案内し
ていること、現在申込みは 49 人（6/27 現在 69 人）

●全体会の記念講演（テーマ：SDG s について）講師が国連広報センター所長根本
かおるさんに内定していることを報告しました。

3. 基調となる報告および埼玉県への要請について

ことしもそれぞれおこなうことを確認しました。埼玉県への要望については 7 月・
8 月に持ち寄ること、県との懇談は年内をめざすことを確認しました。

4. 大会関連（集約事項）について

(1) オープニングについて…基調報告などの時間確保のため、団体紹介スライド
を開会前に上映する。ホワイエでも同時に流す。

(2) 分科会の内容、すすめ方について…例年通り、希望するテーマの話し合いに
参加し組み立てる。（団体数によっては調整する）

(3) 実行委員会団体紹介・配布物について…代表の名前も紹介するか、シナリオ
を作成しながら時間も考慮し今後検討。壇上での並び方も同様。団体からの
お知らせについてはイメージしているものがある団体は事務局まで。

(4) その他 大会・実行委員会に対する意見

●全体会の団体ごとの座席指定は今年もおこなう。

●次年度以降の話し合いは次回実行委員会から話し合いする。

●マスコミリリースは今年も実施（9 月実行委員会後予定）

●市町村職員へのお知らせチラシを送付する。あいさつ文は事務局が作成。
消費者大会とは何か→わかる文章を作成

5. 希望する分科会にわかれて、顔合わせと意見交換をおこないました。

4 つの分科会テーマにわかれ、問題意識について出し合いをおこないました。

6. 実行委員会団体にお知らせをおこないました

第 1 回県内消費者団体全体研修会などをご案内しました。

次回までにお願ひすること（7/5 を目安に）FAX もしくは E メールで送信ください

① 7/12 プレ学習会への出欠、②次回の実行委員会への出欠、③埼玉県への要請事項、④記念講演
の内容への要望、⑤その他意見 ⑥希望する分科会（食、消費者課題、防災・減災、環境）

別紙報告 3

埼玉県受託事業報告（6月度）

2019年6月28日

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

1.消費者被害防止サポーター活動推進事業(サポーター登録累計731人)

(1)消費者被害防止サポーター養成講座

消費者被害防止サポーター養成講座12回開催の実施に向け、県内63市町村すべてに開催のご案内と申し込み書を送付し、6月末までに上尾市、加須市、美里町、横瀬町、蓮田市、三芳町、行田市の4市3町から開催申し込みがあり、鳩山町から講座開催希望の表明がありました。

また、パルシステム埼玉から開催申し込みがあり、医療生協さいたまから開催希望をいただいています。今年度は埼玉県よりサポーターの配置ができていない市町村を削減する方針が出されていることを受け、開催希望の出された市・町との合同開催の提案も行っています。

(2)福祉見守り担当者講座

福祉見守り担当者講座も同様に63市町村への開催案内を行い、2019年度4回の企画は坂戸市、上尾市、宮代町、戸田市、行田市、三芳町の6市町から申し込みがあり、日常的に高齢者に接する機会の多い福祉関係者や民生委員、自治会長などへの見守り支援として県の計画を超えて実施する予定です。

(3)フォローアップ研修・交流会、全体研修会・全体交流会

第1回サポーターフォローアップ研修は、「キャッシュレス社会の広がり電子マネー決済の注意点を学ぶ」をテーマとし、世の中の変化とサポーターの啓発活動に活かす課題を学ぶこと目的に6月11日春日部会場、6月18日熊谷会場、6月21日With You さいたま会場で開催し、3会場で97名のサポーターと4市1町の消費行政担当職員が参加しました。

また交流会では、参加していただいた市・町の消費行政担当職員からの取り組み報告や、事前に行った63市町村へのアンケート調査結果を基に、サポーター同士の啓発活動や今後の計画を交流するとともに、寸劇による啓発のしかたを実践で学んでいただきました。

8月1日に開催する第1回全体研修会は「契約とは」をテーマに計画し、6月28日までに85名の参加申し込みがありました。



2.高齢者等見守り促進事業(2019年度市町村訪問計画は県内63市町村)

消費者被害防止サポーターの養成や啓発活動の連携推進、消費者安全確保地域協議会の設置促進をテーマに、6月28日までに越谷市、鳩山町、富士見市、春日部市、熊谷市、東松山市、小川町、羽生市、毛呂山町、越生町の5市・5町を訪問しました。

3.インターネット適正広告推進事業

(1)啓発事業および監視事業

インターネット適正広告推進事業は、景品表示法に関する啓発講座4回の開催を計画し、8月22日熊谷市、9月6日越谷市、9月14日さいたま市、9月18日川越会場で開催します。

また、5月20日からインターネット広告の監視をスタートしました。6月度は1,007件の広告を点検し、不当表示と思われる82件、75事業者を埼玉県に報告する予定です。

4.今後の課題

- ①第1回フォローアップ研修、交流会の当日運営
- ②7月～8月度市町村訪問の実施
- ③景品表示法の啓発講座開催に関する広報推進
- ④埼玉県主催高齢者の消費者被害防止フォーラム報告準備

別紙報告 4

第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 2 回実行委員会報告

2019 年 6 月 21 日 実行委員会事務局

日時 2019 年 6 月 21 日(水)14 時 00 分～ 会場 埼玉県生協連 会議室 司会岩岡宏保さん
参加者(敬称略) 田中・久保山・佐伯・高橋・木内・石丸(しらさぎ会)、岩岡・大久保(埼玉県生協連)、伊藤・佐藤(原水協)、林(埼玉うたごえ協議会)、関口(パルシステム埼玉)、小野(医療生協さいたま)、土居(婦人民主クラブ埼玉支部)、事務局 加藤 計 8 団体 13 人

1. 第 2 回実行委員会参加者名簿をもとに、各団体活動紹介と自己紹介をおこないました。
2. 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 1 回実行委員会報告をもとに、前回のふりかえりと今回の実行委員会で話し合うことについて確認をおこないました。
3. 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式に必要な運営スタッフに関するを中心に話し合い、次のことを確認しました。
 - (1) 9 時 45 分～11 時 30 分の式次第を確認するとともに、各場面の担当者については次回までに検討することになりました。
 - (2) 慰霊式運営に必要な、のべ必要スタッフ数を確認するとともに、各団体に要請するスタッフ人数を確認しました。次回の実行委員会までに具体的に人の名前を確定することを確認しました。
 - (3) 次回の実行委員会には、役割を具体的に書き込んだ「運営マニュアル」を作成し、検討をおこなう。当日時間がない中で、少しでも事前に確認することでロスを削減するようにする。
4. 検討すべき事項、調整が必要な事項について話し合い、次のことを確認しました。
 - (1) 埼玉合唱団のリハーサル時間の確保と、電子ピアノからのライン出力の確認。
 - (2) 司会席の位置を入口に近い場所に移動するようにレイアウトを修正。
 - (3) 座席の来賓とご遺族の位置を逆にレイアウトを修正。
 - (4) しおりの色については「あさぎ色」を検討する。
 - (5) チラシは版下で各団体へ E メールで配信する。確定するためにしらさぎ会と調整し、でき次第発信する。
 - (6) 事前告知の方法について検討をおこなう。投げ込みだけでなく、取り上げてもらえるような発信をおこなう。
 - (7) 9F でおこなう展示については、平和のメッセージを広島の高校生が描いた原爆の絵の周辺に配置するなど、工夫を凝らしておこなう。→次回実行委員会までに検討が必要なものは、次回の実行委員会に提案ができるように準備をおこないます。
5. 次回日程 7 月 10 日(水)14 時～ 埼玉県生協連・会議室
6. その他
なお、慰霊式後には 13 時～14 時の 1 時間、浦和駅東口周辺でヒバクシャ国際署名の行動をおこなうことを確認しました。ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会と連動した取り組みとなります。

2019 平和のための埼玉の

戦争展

土 月
7/27-29
10:30~18:00 ただし、最終日は
15:30まで

浦和駅西口前
コルソ
7階ホール

入場無料

YES PEACE 2019

耳を傾け 話しあうことから 始めよう



オープニング

梅原司平ミニコンサート
梅原司平さんと歌う
「折り鶴」合唱団募集
申し込み: TEL048-883-1634
埼玉のうたごえ協議会



後援

さいたま市、さいたま市教育委員会、朝霞市、入間市、鴻巣市、川越市、北本市、熊谷市、坂戸市、志木市、白岡市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、新座市、蓮田市、羽生市、飯能市、日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、和光市、藤市、小鹿野町、小川町、越生町、滑川町、宮代町、三芳町、毛呂山町、横瀬町、嵐山町、埼玉新聞社、テレ玉、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、埼玉県労働組合連合会、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議

「2019平和のための埼玉の戦争展」実行委員会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-3-10 黒澤ビル3階
PHONE 048-825-7535 FAX 048-825-7536
HP <http://www.kikanshi-nw.or.jp/peace/>
E-mail peace@kikanshi-nw.or.jp

特別
展示

遺品が語る
沖縄戦



第34回
埼玉県原爆死没者慰霊式

7月28日(日)9:45~11:30
浦和コミュニティセンター
「多目的ホール」(浦和駅東口/バルコ上階)
主催 埼玉県原爆被害者協議会

地域課題解決へ決意

県生協連 新会長理事に吉川氏



吉川尚彦氏

県生活協同組合連合会は、さいたま市浦和区で、会員生協の代議員ら約60人を集めて第48回通常総会を開催した。役員が改選され、6年間の会長理事を務めた岩岡宏保氏の後任として、同連合会理事で生活協同組合コープみらい・コープデリ生活協同組合連合会執行役員の吉川尚彦氏が新たに

会長理事に選出された。総会では2018年度事業・決算報告、19年度事業計画・予算案、任期満了に伴う役員改選案など4議案が承認された。吉川氏は「山積する地域課題の解決に向けて県内生協の共同活動の推進と行政や諸団体との幅広い連携で、一層豊かな地域社会の構築を目指したい」と抱負を述べた。役員改選による新体制は次の通り（敬称略）。

【会長理事兼専務理事】吉川尚彦（生活協同組合コープ

みらい・コープデリ生活協同組合連合会執行役員（新任）

【常務理事】天久保美紀（員外・非常勤）▽大山克己（生活協同組合コープみらい常務執行役員）▽横山博志（生活協同組合バルシステム埼玉専務理事）▽斎藤民紀（医療生協さいたま生活協同組合専務理事）

（足立英樹）

浦和区で総会
NPO法人埼玉消費者被害をなくす会（理事長・池本誠司弁護士）は25日、さいたま市浦和区の浦和コミュニティセンターで、正会員ら約70人を集めて第16回通常総会を開催した。

同会は、東京、大阪に次ぐ全国3番目の特定適格消費者団体として昨年認定。差し止

2019年6月25日 埼玉新聞

「情報提供と財政的基盤の確立が重要」



め請求だけでなく、集団的被害回復訴訟に向けたさまざまな活動をしている。

総会では2018年度事業・活動決算報告、19年度事業計画・活動予算案など3議案が承認された。また、弁護士

や司法書士から消費者トラブルの事例報告が行われた。近年、急成長を続けるソーシャルゲーム業界や美容商品の通信販売など、インターネットに絡んだ商取引トラブルが多くなっており、あいさつした池本理事長「写真」は「消費者の利益を守るためにも皆さまからの情報提供と財政的基盤の確立が重要。私たちの活動をたくさんの人に知ってもらえるよう周囲に協力を呼び掛けてほしい」と訴えた。

（足立英樹）

2019年6月28日 埼玉新聞

2019年6月21日

第55回埼玉県消費者大会開催について

大会スローガン 自ら考え行動する消費者になろう

～誰ひとり取り残さない持続可能な社会を目指して～

埼玉県消費者大会は、県内の消費者団体や県民が、くらしをめぐるさまざまな問題を考え学ぶ場です。

1. 日 時 2019年10月10日（木）午前10時30分～午後3時30分（受付10時～）
2. 場 所 埼玉会館大ホールその他
さいたま市浦和区高砂3-1-4

3. 開催概要

☐ 全体会 10時30分～12時25分（予定）

実行委員会の話し合い報告など

記念講演 「SDGs について学ぶ（仮）」

講師 国連広報センター所長 根本かおるさん

東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネートを担当。WFP 国連世界食糧計画広報官、国連 UNHCR 協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て2013年8月より現職。2016年より日本政府が開催する「持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議」の委員を務める。著書に『難民鎖国ニッポンのゆくえ - 日本で生きる難民と支える人々の姿を追って』（ポプラ新書）他。

☐ 分科会 13時30分～15時30分（予定）*以下4つのテーマで学び、交流します。

・食について ・消費者課題 ・防災・減災 ・環境

4. 参 加 無料 定員1000人 *どなたでも参加できます

《主催：第55回埼玉県消費者大会実行委員会 参加団体》

上尾市消費者団体連絡会/春日部市くらしの会/加須市くらしの会/久喜市くらしの会/越谷市消費生活研究会/埼玉県西部地区消費者団体活動推進世話人会/志木市くらしの会/白岡市くらしの会/新座市消費者展実行委員会/飯能市消費者団体連絡会/生活協同組合コープみらい/生活協同組合パルシステム埼玉/医療生協さいたま生活協同組合/さいたま住宅生活協同組合/埼玉県労働者共済生活協同組合/JA 埼玉県女性組織協議会/埼玉県農民運動連合会/NPO 法人埼玉消費者被害をなくす会/埼玉県消費生活コンサルタントの会/埼玉県地域婦人会連合会/新日本婦人の会埼玉県本部/埼玉県生活協同組合連合会/埼玉母親大会連絡会/埼玉公団住宅自治会協議会/さいたま市消費者団体連絡会

第55回埼玉県消費者大会実行委員会

事務局 清水 桂

TEL：048-844-8971

FAX：048-844-8973

Eメール：shodanren@saitama-k.com

キャッシュレス決済と信用格差社会

～簡単・便利なだけじゃない。使う前にきちんと理解を～



メディアで取り上げられるのは、キャッシュレス決済が簡単・便利だということ。

でも、個人情報などが企業に流れたり与信への影響が懸念されたりと、キャッシュレス社会の未来に対する不安の声もあがっています。アメリカ、中国、韓国で発生している信用格差などについても学びます。

2019年 **8月28日(水)**
10:00~12:00

講師：岩田昭男氏

(消費生活評論家・ジャーナリスト)

浦和コミュニティセンター第13集会室



JR 浦和駅 東口徒歩1分(浦和パルコ上 コムナーレ10階)

駐車場 あり (有料)

定員 80名(要申込み)

主催 適格消費者団体 特定適格消費者団体

特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会

参加費無料

《お申込み・お問い合わせ》 10時~16時(土日祝休み)

適格消費者団体 特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会

TEL 048(844)8972

FAX 048(829)7444